

事務事業評価

平成 24 年度

担当グループ 観光・ジオパークグループ

基本事項	事務事業名	がまだすリーグ・スポーツキャンプ等誘致補助金				整理番号	1506			
	根拠法令等	-				実施を義務付ける規定	○あり ●なし			
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第6章 地域の個性と魅力を磨いて交流を促進する	▼	予算科目	7 款 1 項 3 目	◎継続 ○新規				
事業の目的・実施状況等	事業の背景(課題、市民の要望等)	<p>本市の観光客は、雲仙普賢岳噴火災害を機に、入込客数、宿泊客数とも大幅に減少していることから、観光客(交流人口)の拡大と地域の活性化を図るため、各種誘客対策に取り組んでいる。</p> <p>なかでも、本市はスポーツコンベンション施設を数多く有し、これらを活用した各種のスポーツ大会等が積極的に開催されており、とりわけサッカー競技については全国的に盛んな地域として知られ、親善交流試合等による交流も深まっている。近年は、プロサッカーチームによる試合も開催され、県外からも多くの観客が訪れている。このようなことから、九州を拠点とするJ1・J2・JFL等によるサッカーリーグを本市で開催することにより、市外・県外からの観光客誘致と、青少年への夢と健全育成及び技術習得の場を提供するためを行う。</p> <p>また、野球や陸上、バドミントン、剣道など各種競技のキャンプや合宿の実績もあり、交流人口拡大のため、今後も積極的に誘致活動を推進する。</p>				計画期間	始期	平成 18 年から	終期	平成 年まで
	事業の対象及び目的(誰に、何を、どのような状態にしたいのか)	<p>○九州のリーグやJFLチーム、九州リーグ登録チームの交流戦(がまだすリーグ)を開催することで、地域の活性化と交流人口の拡大を図る</p> <p>○地域の活性化、市民スポーツの向上、青少年の健全育成等を図るため、リーグをはじめ各種スポーツのキャンプ等を誘致する</p> <p>スポーツを通じて交流人口の増大を図り、地域経済の活性化を図る。</p> <p>また、トップアスリート等の高い技術を目の当たりにする機会を設けて、競技力の向上を図る。</p>								
目的達成のための手段・方法	<p>○誘致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実績のあるチームには、引き続き、利用、参加していただくための活動を展開し、定着化を図る</li> <li>新規チームの開拓、誘致活動</li> </ul> <p>○支援体制の強化・取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>競技場、宿泊施設など関連施設との連携強化</li> <li>地元の入組組織、競技団体などのサポート体制と受入環境の整備、歓迎ムードの醸成</li> </ul>									
	成果指標(意図する状態の達成度を図るものさし)	<p>名称等(内容)</p> <p>観光客数の増加。(指標は、宿泊客数とする) ※平成24年宿泊客数 年間200千人</p>				単位	22年度	23年度	24年度	
活動指標(意図する状態達成のために実施する活動等)	<p>①誘致活動</p>				目標	千人	200	200	200	
	<p>②がまだすリーグ参加チームの増加 ※J1、J2、JFL、九州リーグ、大学</p>				実績	千人	207	188		
事業費等の推移	<p>達成率</p>				達成率	%	103.5	94.0	0.0	
	<p>②観光客の入込客数</p>				目標	千人	1,300	1,350	1,300	
事業費等の推移	<p>実績</p>				実績	千人	1,335	1,268		
	<p>達成率</p>				達成率	%	102.7	93.9	0.0	
事業費等の推移	<p>①誘致活動</p>				目標	回	6	8	8	
	<p>②がまだすリーグ参加チームの増加 ※J1、J2、JFL、九州リーグ、大学</p>				実績	回	8	6		
事業費等の推移	<p>目標</p>				目標	チーム	4	4	6	
	<p>実績</p>				実績	チーム	4	6		
事業費等の推移	年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度			
	区分	実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画			
事業費等の推移	①直接事業費(千円)	5,000	5,500	5,500	7,000	7,000	7,000			
	財源内訳									
事業費等の推移	国県支出金	60	30	1,986	1,000	1,000	1,000			
	地方債									
事業費等の推移	その他									
	一般財源	4,940	5,470	3,514	6,000	6,000	6,000			
事業費等の推移	②従事職員給与費 b1×b2	1,931	1,934	1,935	1,954	1,965	0			
	従事職員数(人) b1	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27			
事業費等の推移	職員平均人件費 b2	7,153	7,162	7,168	7,236	7,277				
	事業費合計 ①+②	6,931	7,434	7,435	8,954	8,965	7,000			

【1次評価】

◎事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
目的 妥当性	①住民ニーズの変化等により事業の必要性や役割は変わっていないか	A=変わっていない B=一部変わった C=変わった 観光客数が低迷状況の中、本事業の成果は着実に成果を挙げている。	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に任せることはできないか	A=可能でない B=一部は可能 C=可能である 観光客数が低迷状況の中、本事業の成果は着実に成果を上げており、今後も更に誘客を図るためには、引き続き公費を投入する必要がある。	A
	③対象等は事業目的に見合っているか、拡大や絞込む必要はないか、見直しによる費用対効果の向上が図られないか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 交流人口を拡大するための有効な手段であり、また、今年度から、「がまだすリーグ」と「キャンプ等誘致」の補助金統合による事務の効率化を図っている。	A
有効性	④事業の実施により初期の目的や目標がどの程度達成されているか	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない これまでの取り組みにより、チームの誘致並びにその後の継続したキャンプ実施につながっており、また、がまだすリーグについても、「J」をはじめとするチーム参加により誘客につながっている。	A
	⑤成果の状況を踏まえ、手段等を工夫したり事業内容を見直すことで、成果をさらに向上させる余地はありませんか	A=十分成果が得られている B=検討の余地あり C=見直しが必要 今年度から、「がまだすリーグ」と「キャンプ等誘致」の補助金統合による事務の効率化を図っている。	A
効率性	⑥活動量や成果を下げずにコストを削減できないか、投入された資源量に見合う結果が得られているか、改善の余地はありませんか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 今年度から、「がまだすリーグ」と「キャンプ等誘致」の補助金統合による事務の効率化を図ることにより、コストの削減につながるものと思われる。	B
	⑦事業の効率性を上げるため、他の事業との統合や事務の省力化など見直す余地はありませんか	A=見直す余地はない B=統合等、検討の余地あり C=見直しが必要 平成24年度から「がまだすリーグ」と「キャンプ等誘致」補助金を統合し、双方の連携による事務の効率化を図っている。	A
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 「がまだすリーグ」と「キャンプ等誘致」双方の実行委員会の統合による効率的な運営。	B
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されていますか。全体コストから見て受益者の負担割合は適切か、使用料等の見直しの余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 交流人口の拡大が地域経済の活性化につながる。	A
⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか		A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要	A
判定評点平均 A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算			2.80

◎ 総合評価

評価 結果	◎ A 継続実施(特段の見直しは行わない)	判断理由	これまでの取り組みにより、着実に成果が上がっている。
	B 改善・見直しを行う		
	○ B1 事業規模の拡充		
	○ B2 事業規模の縮小		
	○ B3 事業内容の改善・見直し		
○ B4 その他の見直し	(実施上の課題等) ・「がまだすリーグ」「キャンプ等誘致」双方の組織のとの癒合。 ・実績のあるチームの誘致の継続と、新規チームの開拓。		
○ C 休止(隔年実施などへの変更)			
○ D 廃止(終期の設定等を含む)			
今後の課題及び改善策、見直しの状況			
・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上で今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載ください。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。			

【2次評価】

総合判定	A 継続実施(特段の見直しは行わない)
備考	

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減 (千円)
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	